「こころんプール」の設置や、授乳室を設けることで、子育てと仕事を両立する柔軟な職場を目指す。

技術士（林産）でもある寺川社長は「コストや納期の都合で木造を選択肢から外すことは少なくない。工期を短縮した非住宅木造も実現可能ということを周知していきたい。事務所や店舗、保育園など非住宅のモデルになればよい」と語る。LVLの構造特性を生かした新ショールーム兼作業所が、木造非住宅建築のモデルになることを目指す。

現場監視カメラをNETISに登録
技術活用の促進図る

吉田東光

建材商社の吉田東光（さいたま市、吉田順社長）は、建築現場・工場・倉庫などの現場監視用カメラ「現場見守る君」を国土交通省の「NETIS（新技術情報提供システム）」に登録した。登録日は10月20日。また、カメラの仕様もユーザーニーズを反映して改良が進み、より使いやすくなっている。

NETISとは、新技術にかかわる情報を共有・提供するシステムで、公共工事などで活用できる優れた技術の積極利用の推進につながる。今回、同社のカメラは現場管理の省人化を目的としたツールとして登録されている。

現場見守る君は、専用アプリを使用し、スマートフォンやタブレット端末に現場のライブ映像を配信する。赤外線暗視機能により夜間の監視にも有効だ。据え付けタイプ、屋内向けの置き型ハンディタイプなど、使用環境に合わせたカメラタイプがそろっている。東京・千葉・埼玉・神奈川の1都3県では有料で設置・回収も同社が請け負う。

カメラはレンタル方式で、カメラ1台、通信料、サーバー代、保険料込みのリースナブルな料金体系に設定されている。

今年3月からは、人感センサー付きライトのオプションを付与したカメラも取り扱っている。夜間の監視・防犯能力の向上というユーザーの要望に応えた仕様改良で、取り扱い開始以降、レンタル台数は増えている。

レンタル顧客は多岐にわたり、工務店やハウスメーカーの使用も増加傾向にある。関東だけでなく西日本など全国で利用されており、遠方の現場の状況確認や作業員のマナー向上、防犯対策で好評だ。

建築市場では現場監視カメラの認知度が高まっているが、現場見守る君はコストメリットと顧客ニーズを捉えた仕様・サービスで差別化が図られている。動画確認だけでなく、1日当たり720枚の静止画を7日間保存できるシステムは、同社ならではの特徴だ。今後は、施工管理アプリとの連携なども視野に入れている。

10月の米国新設住宅
再度130万戸台に上昇
建築許可件数、12年ぶり高水準

米国の10月の新設住宅（季節調整済み年率換算）は131万4000戸（前月比3・8%増、前年同月比8・7%増）と3カ月連続で130万戸台に乗せた。12年ぶりの高水準。

戸建てが93万6000戸（同2・0%増、8・2%増）と3カ月連続で増加。集合住宅が37万8000戸（同7%増）のほか、西部（同17・6%増）中西部（同8・7%増）が増えた。

実数は11万3100戸（前月比0・3%減、前年同月比7・0%増）と前月をわずかながら下回った。内訳は戸建て7万9400戸（同0・9%減、6・0%増）、集合住宅が3万3700戸（同0・6%増）。

告知板

19日に山口で
全国木橋サミット

全国木橋サミット2019in岩国（主催＝岩国市）が19日、岩国市文化会館小ホール（山口県）で開催される。

今回は、鍋帯橋の50年ごとの定期点検に合わせて、岩国市で開催される。

プログラムは、「鍋帯橋の維持管理」（仮）、パネルディスカッションで維持管理の予算確保、点検・診断の体制、耐久性向上などの工夫、用材の確保などについて話し合う。

事例報告は、鍋の舞橋（青森県鶴田町）錦ケ城跨下橋（福島県会津若松市）こおろぎ橋（石川県加賀市）。

参加は無料、定員140人。

詳細は、全国木橋サミットのホームページ（https://kisosumi.jp.org/2019/index.html）で。

25日まで
クールジャパン
アワード募集

クールジャパン官民連携プラットフォーム（内閣府知的財産戦略推進事務局）は、「クールジャパン・マッチングアワード2019」のアワード候補募集を開始した。応募締